

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

先週末のドルリアルスポット相場は、強い米雇用統計を受けて一時4.05台半ばまでドル買いリアル売りが加速したものの、この動きも持続せず、引けにかけては反落。4.02台半ばで取引を終えた。公表された12月非農業部門雇用者数は前月比29.2万増と、市場予想を大きく上回る良好な内容。前月分も21.1万人増から25.2万人増に上方修正されており、労働市場の堅調さが窺える(失業率は5.0%で横ばい)。平均時給が前月比横ばいに留まったことが嫌気され(前年比では2.5%増を記録)、マーケットのドル買いも限定的なものに留まったが、年明けから中国発の世界経済減速懸念を起因としてリスクセンチメントが後退する中で、米経済の良好さが確認できた点はポジティブな材料であろう。FRBによる年内利上げシナリオをマーケットが再び織り込みにいく展開が予想される。一方、サンフランシスコ連銀のウィリアムズ総裁は、「1月のFOMC会合で追加利上げを支持するかどうかは依然として様子見の姿勢である」と発言。FOMC参加者の政策金利予測が示唆する年内4度の利上げについても、「確定したわけではない」との見解を示した。

ブラジル地理統計院(IBGE)が8日に公表した2015年のIPCAは前年比10.67%を記録。12年超ぶりとなる高い伸びを示していることから、マーケットではブラジル中銀による追加利上げ期待が高まっている。

マーケットデータ

Indicator		Unit	1月7日	1月8日	前日比	12月8日	1ヶ月前比
リアル	対ドル	BRL	4,0444	4,0248	-0,0196	3,7966	+0,2282
	対円	JPY	29,09	29,13	+0,04	32,38	-3,25
	対ユーロ	BRL	4,4237	4,3890	-0,0347	4,1340	+0,2550
円	対ドル	JPY	117,67	117,26	-0,4100	122,93	-5,6700
	対ユーロ	JPY	128,62	128,12	-0,50	133,90	-5,78
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	40.695	40.612	-83	44.443	-3.831
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	484,0	487,6	+3,6	459,0	+28,6
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	16,15	16,18	+0,03	15,66	+0,52
DI Future Apr17 (金利先物)		%	15,77	15,78	+0,01	15,94	-0,16
3 Months US Dollar Libor		%	0,617	0,621	+0,004	0,487	+0,134
CRB Index (国際商品指数)		Index	168,5	168,6	+0,1	177,4	-8,8

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

